

「第1回 全国高校生介護技術コンテスト」課題

西郷花子さん 82歳 女性

西郷さんは、夫を3年前に亡くしました。夫を亡くしてほどなく脳梗塞を患い、左半身麻痺となりました。現在、西郷さんは要介護3と認定され、日常のほとんどの活動について介助が必要となり、特別養護老人ホームの個室で生活しています。若い頃は華道の先生をされており、お弟子さんたちと活発に交流をはかっていたのですが、最近では、移動に不安を訴え、意欲が低下し、臥床している時間が長くなっています。

今朝、ベッド上でお茶を飲もうとしてこぼしてしまい、前開きのパジャマの上着とシーツを濡らしてしまったようです。今は仰臥位になっています。先ほど、施設に、娘さんから面会するという電話がありました。

介助者は、状況を判断し、濡れた上着の着替えの介助を行ってください。シーツの交換も行ってください。また、娘さんが間もなく訪れるという電話があったことを伝え、車椅子に移乗し、玄関へお迎えに行く準備までの介助を行ってください。

<技術内容>

観察，環境整備，着脱（上着）介助，移乗（ベッドから車椅子），移動（仰臥位→端座位）

<準備してある物品>

車椅子，上着ジャケット2種，くし，膝掛け，代わりのお茶の入ったポット，湯飲み，替えのシーツ

<審査基準>

項目	内容
コミュニケーション	・コミュニケーションをはかりながら介護しているか。
プライバシーの保護	・プライバシーの保護に配慮しながら介護しているか。
自己決定の尊重	・自己決定を促し，意思の確認を行いながら介護しているか。
残存機能・潜在能力の活用	・残存機能・潜在能力を活用しながら介護しているか。
安全・安楽への配慮	・安全・安楽の基本に沿った介護を行っているか。
心身の状況に応じた介護	・心身の状況に応じた介護を行っているか。
実施時間	・7分以内に実施できる介護の内容となっているか。
エビデンスに基づく介護	・エビデンス（根拠）に基づく介護を行っているか。

その他（参考資料）

※ 全国大会第1回目は，地区審査がなく1回目の事例で書類審査を行い，選抜された10チームが全国大会に臨むという形式でした。

※ 大会は，2チームずつ，審査員は学識経験者・介護福祉士会等の外部審査員3名，高校教員2名の5名が審査にあたりました。